

郷土学習セット「2-3中学生向け 原爆・平和学習①」から6冊を紹介します

1	<p>『「原爆の絵」と出会う 込められた想いに耳を澄まして』 (岩波ブックレット)</p> <p>直野章子／著 岩波書店</p>	<p>広島に原爆が落とされて30年後、NHK広島放送局が募集した「広島市とその周辺での被爆後の状況をあらわす絵」に約2200枚の絵が集まりました。それからさらに30年後、絵の作者たちから話を聞き、まとめた1冊です。</p>	
6	<p>『ナガサキー 1945年8月9日 新版』 (岩波ジュニア新書) 長崎総合科学大学平和文化研究所／編 岩波書店</p>	<p>広島・長崎に原爆が投下されて50年目にあたる年に発行された本です。16世紀から原爆投下までの長崎の歴史、原爆の製造、長崎をおそった原爆、原爆投下後の集熱地獄と化した長崎、戦後50年間の平和運動についてまとめてあります。</p>	
11	<p>『ヒロシマ・ナガサキ』 立命館大学国際平和ミュージアム／監修 安斎 育郎／編 宇吹 暁／〔ほか著〕 岩波書店</p>	<p>被爆前の広島・長崎、原爆開発、原爆による被害状況、被爆者のその後、原爆投下後の核兵器の拡散、原水爆禁止運動、広島・長崎の原爆遺構についてまとめられています。</p>	
15	<p>『核兵器はいらない！ 知っておきたい基礎知識』 沢田昭二／著 新日本出版社</p>	<p>被爆者であり、物理学者である著者は、核兵器をなくす取り組みにも参加してきました。この本は、原爆はどのようにしてつくられたのか。原爆被害とはどんなものか。水爆について。核兵器をなくす運動がどのようにとりくまれてきたかなどがまとめられています。</p>	
26	<p>『女子学生の長崎原爆の記録―一時のかたみに―』 (皓星社ブックレット) 中野 道子／編著 皓星社</p>	<p>原爆の実態を知らない外国の人に読んでもらいたいと作成された記録集です。原爆が投下された当時16歳頃であった少女たちが、体験した原爆の被害状況を被爆後50年経ってからようやく語り出すことができた記録です。</p>	
36	<p>『被爆者 60年目のことば』 会田法行／写真・文 ポプラ社</p>	<p>広島と長崎に原爆が落とされてから60年、被爆者がどう生き、何を考えているのか。原爆によって傷つき苦しんだ6人の被爆者が、自らの今の状況、核兵器に対する思いを語ります。</p>	